**第〇学年〇組　学級活動（〇）学習指導案**

北九州市立〇〇〇学校

指導者　〇〇　〇〇

１　題材　「〇〇〇〇」　　学級活動（〇）　〇　〇〇〇〇〇〇〇〇

２　題材について

1. 児童・生徒の実態

　本学級の児童・生徒は、～～

題材の内容に関する児童・生徒の実態

（よりよい生活を築くための知識・技能、集団や社会の形成者としての思考・判断・表現、主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度）を記述する。

1. 題材設定の理由

　本題材は、～～

３　目標

|  |  |
| --- | --- |
| 知識及び技能 | ○　～～することができる。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | ○　～～することができる。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | ○　～～しようとする。 |

４　評価規準

|  |  |
| --- | --- |
| よりよい生活を築くための知識・技能 | ○　～～している。 |
| 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | ○　～～している。 |
| 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 | ○　～～しようとしている。 |

５　事前の指導

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 〇　主な指導上の留意点 | 【観点】評価規準（評価方法） |
| １　～～する。 | 〇　～（ねらい）～することができるように、～（手だて）～する。 | 【○】～～している。（〇〇）「３　目標」を評価規準に変え、それぞれの時間に割り振る。 |
| ２　～～する。 | 〇　～～することができるように、～～する。 | 【〇】～～している。（〇〇） |
| ３　～～する。 | 〇　～～することができるように、～～する。 | 【〇】～～している。（〇〇） |

１時間に１項目は必ず、「主な指導上の留意点」を記述する。

【知】よりよい生活を築くための知識・技能（～～している。）

【思】集団や社会の形成者としての思考・判断・表現

（～～している。）

【主】主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度

（～～しようとしている。）

６　本時の学習

（１）日時　令和〇年〇月〇日（〇）〇校時　於　〇年〇組教室

（２）主眼

～（主な手だてと活動）～する活動を通して、～～に気付き、～（ねらい）～することができるようにする。

必須ではない。

（３）準備

　　教師：〇〇〇、〇〇〇

主体的・対話的で深い学びの実現に向かうための留意点を記述する。

　　児童・生徒：〇〇〇

（４）展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 〇　指導上の留意点　　【観点】評価規準（評価方法） |
| １　～～する。めあて　～～けが調べをして，思ったことを話し合おう。２　～～する。３　～～する。絵や図、簡単な板書等、活動内容や予想される児童・生徒の思考が分かるものを記載する。「主眼」「めあて」「まとめ」「評価規準」の整合性をとる。まとめ　～～４　～～する。 | ○　～（ねらい）～することができるように、～（手だて）～する。〇　～～することができるように、～～する。〇　～～することができるように、～～する。（本時で活用する場合）ＧＩＧＡ端末の活用についても明記する。〇　～～することができるように、～～する。努力を要する子どもへの手だても記述する。【○】～～している。（〇〇）「まとめ」が無い場合もある。〇　～～することができるように、～～する。 |

７　事後の指導

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 〇　主な指導上の留意点 | 【観点】評価規準（評価方法） |
| １　～～する。 | 〇　～～することができるように、～～する。 | 【○】～～している。（〇〇） |
| ２　～～する。 | 〇　～～することができるように、～～する。 | 【〇】～～している。（〇〇） |
| ３　～～する。 | 〇　～～することができるように、～～する。 | 【〇】～～している。（〇〇） |

学校の実情に応じて、内容を変更してもよい。